



概要

- [プログラマビリティの概要 \(1 ページ\)](#)
- [サポートされるプラットフォーム \(2 ページ\)](#)
- [標準的なネットワーク管理機能 \(2 ページ\)](#)
- [高度な自動化機能 \(2 ページ\)](#)
- [プログラマビリティのサポート \(3 ページ\)](#)

プログラマビリティの概要

Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチ上で動作する Cisco NX-OS ソフトウェアには、次のような特徴があります。

- **耐障害性**
クリティカルなビジネスクラスの可用性を確保します。
- **モジュラ型**
ビジネス ニーズに対応する拡張機能があります。
- **高度なプログラム性**
アプリケーションプログラミングインターフェイス (API) を介した迅速な自動化とオーケストレーションを可能にします。
- **セキュア**
データと運用を保護し維持します。
- **柔軟性**
新しいテクノロジーを統合して有効にします。
- **優れた拡張性**
ビジネスと要件に対応して拡大できます。
- **使いやすさ**

必要な学習量が少なく、展開がシンプルで、管理が容易です。

Cisco NX-OS オペレーティング システムでは、デバイスはユニファイド ファブリック モードで機能し、プログラムによる自動化機能を備えたネットワーク接続を提供します。

Cisco NX-OS には、オープン ソース ソフトウェア (OSS) と商用テクノロジーが含まれており、これらは自動化、オーケストレーション、プログラマビリティ、モニタリング、コンプライアンスをサポートします。

オープンな NX-OS の詳細については、<https://developer.cisco.com/site/nx-os/>を参照してください。

サポートされるプラットフォーム

Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I7(1) 以降、「[Nexus スイッチ プラットフォーム サポート マトリクス](#)」を使用して、選択した機能をサポートするさまざまな Cisco Nexus 9000 および 3000 スイッチのリリース元である Cisco NX-OS を知ることができます。

標準的なネットワーク管理機能

- SNMP (V1、V2、V3)
- Syslog
- RMON
- NETCONF
- CLI および CLI スクリプト

高度な自動化機能

デバイスでの機能が強化された Cisco NX-OS は、自動化をサポートします。プラットフォームには、電源投入時自動プロビジョニング (POAP) のサポートが含まれています。

デバイスでの機能が強化された Cisco NX-OS は、自動化をサポートします。プラットフォームには、自動化をサポートする次の機能が含まれています：

- 電源オン自動プロビジョニング (POAP) サポート
- Chef と Puppet の統合
- OpenStack の統合
- OpenDaylight の統合と OpenFlow のサポート

プログラマビリティのサポート

スイッチ上の Cisco NX-OS ソフトウェアは、プログラマビリティを支援する複数の機能をサポートしています。

NX-API のサポート

Cisco NX-API を使用すると、HTTP ベースのプログラムによってスイッチにアクセスすることが可能になります。このサポートは、オープンソースの Web サーバーである NX-API によって提供されています。NX-API では、Web ベース API を通じて Cisco NX-OS CLI のすべての構成機能および管理機能を提供しています。デバイスは、XML または JSON フォーマットで API 呼び出しの出力を公開するように設定できます。この API により、スイッチでの迅速な開発が可能になります。

Python スクリプティング

Cisco NX-OS は、Python v2.7.5 を、インタラクティブ モードと非インタラクティブ（スクリプト）モードの両方でサポートしています。

Cisco NX-OS リリース 9.3(5) 以降、Python 3 もサポートされています。

デバイスの Python スクリプト機能は、さまざまなタスクを実行するためのスイッチの CLI と、Power On Auto Provisioning (POAP) または Embedded Event Manager (EEM) アクションへのプログラムによるアクセスを提供します。Cisco NX-OS CLI を呼び出す Python コールへの応答は、テキストまたは JSON 出力を返します。

Python インタープリタは Cisco NX-OS ソフトウェアに含まれています。

Tcl スクリプティング

Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチは、Tcl（ツール コマンド言語）をサポートします。Tcl は、スイッチで CLI コマンドを柔軟に使用できるようにするスクリプト言語です。Tcl を使用して **show** コマンドの出力の特定の値を抽出したり、スイッチを設定したり、Cisco NX-OS コマンドをループで実行したり、スクリプトで EEM ポリシーを定義したりすることができます。

Broadcom シェル

Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチの前面パネルおよびファブリック モジュールのラインカードには Broadcom のネットワーク転送エンジン (NFE) が搭載されています。これらの NFE から Broadcom コマンドライン シェル (bcm-shell) にアクセスすることができます。

bash

Cisco Nexus スイッチは、Bourne-Again Shell (Bash) への直接アクセスをサポートします。Bash では、デバイス上の基盤となる Linux システムにアクセスし、システムを管理できます。

bash シェルへのアクセスと Linux コンテナのサポート

Cisco Nexus スイッチは、Linux シェルへの直接アクセスと Linux コンテナをサポートしています。Linux シェルへのアクセスでは、スイッチ上の基盤となっている Linux システムにアクセスして、基盤システムを管理できます。また、Linux コンテナを使用して、独自のソフトウェアを安全にインストールし、Cisco Nexus スイッチの機能を強化することもできます。たとえば、Cobbler などのベアメタルプロビジョニング ツールを Cisco Nexus スイッチにインストールして、トップオブブラック スイッチからベアメタル サーバーを自動的にプロビジョニングすることができます。

ゲスト シェル

Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチは、ホスト Cisco Nexus 9000 NX-OS ソフトウェアから分離されたホストシステム上の Linux 実行スペースへの Bash アクセスを提供するゲスト シェルをサポートします。ゲスト シェルを使用すると、ホスト システム ソフトウェアに影響を与えることなく、必要に応じてソフトウェア パッケージを追加し、ライブラリを更新できます。

コンテナ トラッカーのサポート

Cisco NX-OS は、特定のスイッチポートの背後にあるコンテナの機能を理解するため、Kubernetes API サーバーと通信するように構成されます。

次のコマンドにより、Kubernetes API サーバーと通信します。

- **show containers kubernetes** コマンドは、HTTP 経由の API コールを使用して *kube-apiserver* からデータを取得します。
- **kubernetes watch resource** コマンドは、デーモンを使用して要求されたリソースにサブスクリライブし、*kube-apiserver* からのストリーミングデータを処理します。
- **watch** コマンドで割り当てられた **action** は、事前定義されたトリガーにより実行されます。（たとえば、ポッドの追加または削除）。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。